

問い合わせ先	
(文化振興に関すること)	(堺市展に関すること)
担当課 文化観光局 文化部 文化課	担当課 (公財) 堺市文化振興財団
直 通 072-228-7143	直 通 072-228-0114
内 線 4630・4636	F A X 072-228-0115
F A X 072-228-8174	

堺の秋を彩る美術公募展

第 72 回堺市展を開催します

— 日本画、洋画・版画など約 500 点を展示 —

第 72 回堺市展を下記のとおり堺市立文化館で開催します。

堺市展は、戦後の文化復興をめざして昭和 22 年に第 1 回が開催されて以来、堺の美術振興にかかる中心的な取組として、半世紀を超えて開催している伝統ある公募展覧会です。

本展では、全 6 部門（日本画、洋画・版画、彫刻・立体造形、工芸、写真、書道・てん刻）に応募された作品の中から審査で選ばれた入賞及び入選作品と招待作品を合わせた約 500 点を紹介します。

記

1. 名 称 第 72 回堺市展
2. 会 期 第 1 期 11 月 14 日（水）～18 日（日） 写真、彫刻・立体造形
第 2 期 11 月 21 日（水）～25 日（日） 洋画・版画
第 3 期 11 月 28 日（水）～12 月 2 日（日） 日本画、工芸、書道・てん刻
※ 全 6 部門の作品を 3 期に分けて紹介します。
3. 場 所 堺市立文化館 ギャラリー
(堺市堺区田出井町 1-2-200 ベルマージュ堺式番館 2～3 階)
直通 072-222-5533
4. 開催時間 午前 9 時 30 分から午後 7 時まで
但し、各会期の最終日（18 日、25 日、12 月 2 日）は午後 3 時まで
5. 観 覧 料 無料
6. 表 彰 式 平成 30 年 12 月 1 日（土）に堺市産業振興センターにて開催します。
(対象は入賞者のみ)
7. 作品講評会 会場内で審査員が入賞・入選作品を講評します。参加無料で、出品者に限らずどなたでも参加いただけます。日時の詳細は、別紙資料を参照ください。
8. 主 催 堺市、(公財)堺市文化振興財団

◆応募総数及び審査結果

	応募総数	入賞	入選	入賞・入選計
日本画	43	9※	34	43
洋画・版画	205	20	94	114
彫刻・立体造形	24	9	11	20
工芸	40	10	20	30
写真	198	18	84	102
書道・てん刻	52	10	31	41
計	562	76※	274	350

※複数受賞の作品を含む

◆堺市長賞の受賞者

	題名	氏名	住所
日本画	居るところ	三好 順子	岸和田市
洋画・版画	夢想家の休日	西田 正義	泉大津市
彫刻・立体造形	“うによ うによ”産まれる	園川 絢也	堺市西区
工芸	佇む	泉谷 守衛	河内長野市
写真	帰り道	阿茂瀬 邦男	堺市西区
書道・てん刻	許渾詩	堀 蘭艸	大阪市生野区

◆審査員 (50音順)

日本画：池田 方彩、雲丹亀 利彦、川中 信也、玉城 忍
 洋画・版画：岩本 かずえ、呉本 俊松、野畑 和昭、持田 総章、山野 英嗣
 彫刻・立体造形：永松 登志生、長谷川 政弘、安來 正博、山本 哲三、淀川 和男
 工芸：市野 雅彦、舘 正明、中塚 宏行、西田 亮榮、森岡 紗知子
 写真：伊藤 広志、犬伏 雅一、長谷川 裕行、藤森 久嘉、細井 雪代
 書道・てん刻：嘉祥寺 慶光、田村 梅翠、野口 雅子、畑中 弄石、松本 佳子

◆作品講評会の日時

11月18日(日) 午後1時から 写真
 午後1時30分から 彫刻・立体造形
 11月25日(日) 午後1時から 洋画・版画
 12月2日(日) 午前10時30分から 書道・てん刻
 午後1時から 日本画
 午後1時30分から 工芸

◆審査を終えて

今回は6部門合わせて562点の応募がありました。地域別に見ると、堺市内からの応募が352点、府内の他市町村から188点、他府県からは22点の応募があり、堺市外からの応募者の比率が約37.4%となり、堺市外からも注目され、広く親しまれる公募美術展となっています。

応募者の最年少は18歳（書道・てん刻の部）、最高齢は96歳（写真の部）で、入賞者の最年少は20歳（彫刻・立体造形の部：芸術新人賞）、最高齢は87歳（写真の部：堺清陵ロータリークラブ賞）となりました。作家をめざして制作活動をする若年層から、生涯学習活動として美術を愛好する高齢者まで、幅広い層が参加する公募美術展であるとも言えます。

新進芸術家の育成を目的とし、40歳未満を対象とした芸術新人賞を受賞した5名には、来年夏に同会場にて開催予定の「New Face Art 堺」にて作品発表の機会を提供します。

本展の開催を通じ、将来の文化芸術を担う人材の育成や美術文化の一層の発展を図るとともに、優れた美術作品を多くの皆様にご覧いただくことにより、市民の皆様の文化活動がより活発になることを願っています。